



防災基礎知識③ ー大雪への備えー

■問合せ…市民安全課 (☎025-520-5660)

大雪を含む自然災害から身を守り、被害を最小限にするためには、災害に対する日々の備えと地域の支え合いが大切です。各家庭や町内で災害対応について話し合い、日頃から十分な備えをしておきましょう。



こまめに気象情報の確認をしましょう

テレビやラジオ、インターネットなどで天気予報を確認し、気象情報や注意報、警報などの情報収集を行いましょう。特に注意報などが発表された場合は、降雪や積雪による住家などの被害や交通障害の恐れがあるので、予想降雪量などを確認し、事前対策の目安としてください。また、停電時にも情報が得られる電池式のラジオなども用意しておきましょう。

協力して除雪作業をしましょう

高齢者世帯など、雪かきが困難な世帯については、近隣同士で声をかけ合い、安全に作業ができるように協力しましょう。



ガス水道設備の損傷を防止しましょう

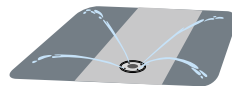
水道管が破裂しないよう、保温材を取り付ける、蛇口から細く水を出すなどして凍結を防ぎましょう。

一酸化炭素中毒を防ぐため、除雪作業で排気設備が破損したり、給気口が雪で覆われたりしないよう注意しましょう。



地盤沈下を防ぐための地下水の節水をしましょう

消雪のため地下水を多くくみ上げると地盤が沈下し、住宅などに大きな被害が発生する恐れがあります。地盤沈下注意報および警報の発令時は消雪パイプの水をこまめに止め、人力や機械で除雪を行うなど、節水に取り組みましょう。



上越地区産業廃棄物最終処分場の整備に向けて③

現在、新潟県条例による環境影響評価(環境アセスメント)の手続きを実施しています。今回は、昨年度、環境影響評価の方法をまとめた「方法書」に対して住民から寄せられた意見と、(公財)新潟県環境保全事業団の見解の概要をお伝えします。

※方法書は新潟県環境保全事業団のホームページでご覧いただけます。



県環境保全事業団

住民から寄せられたご意見と県環境保全事業団の見解の概要

意見 万蔵川の水質調査について

- ・施設稼働後も、自然環境の復元・再生に向けての継続的な調査を行ってほしい。
- ・具体的な環境保全対策について、迅速かつ分かりやすい情報公開をしてほしい。



回答

- ・埋め立て完了後も環境モニタリング調査を継続的にを行い、結果はホームページなどを活用し速やかに公表します。
- ・具体的な環境保全対策については、今後検討の上、準備書でお示します。

意見 植物相の調査について

- ・事業実施区域およびその周辺において、貴重な植物相の現状を明らかにする調査が必要である。施設整備のために失われるものについては、その資料を残すことが重要と考える。
- ・自然環境の復元、再生に向けて、基礎となる調査をしてほしい。



回答

- ・事業実施区域およびその周辺において、動物相、植物相、植物群落、植生の現状を明らかにする調査を実施し、調査結果を施設の緑化計画などに反映してまいります。



意見 市民との情報共有について

- ・埋め立て後の施設の有効活用に向け、これまでに開催した説明会での質疑応答の内容を公表するなど、多くの市民と情報を共有し、市民とともに整備してほしい。



回答

- ・ご指摘の点について、ホームページなども活用し、多くの皆さんと情報共有を図りながら、事業を進めてまいりたいと考えています。

■整備に関する問合せ…新潟県環境局資源循環推進課(☎025-280-5161)、上越分室(☎025-520-7859)
(公財)新潟県環境保全事業団上越建設事務所(☎025-520-7853)

■記事に関する問合せ…生活環境課(☎025-520-2088)